



ようやく朝の気温も下がり、秋めいてきました。食欲の秋、読書の秋、そして、「文化の秋」の到来です。3日後に文化祭を控え、4年ぶりに午後の教室から元気な歌声が響いています。2年生は、いよいよ学校の中心としての役割を、3年生から引き継ぐ時期になります。その自覚をもって、これからの学校行事やチャレンジワークなどに、今まで以上に『パワーフィル』に取り組んでほしいと思います。

## 交通教室

9月6日の午後、JAと警察署が連携した「自転車交通教室」が、本校のグラウンドで開催されました。雨の中、スタントマンが、二人乗りやスマホをしながら運転をする危険な自転車走行に伴う交通事故を再現してください、交通事故の恐ろしさと交通ルールを守る大切さを学びました。



### 【生徒の感想】

自転車も車両であることと、アルコールが入っていたり、2列の並進はNGだと知りました。また、トラックの内輪差では、前輪は、人が一人通れる広さがあったのに、左折し終わった時には、後輪で人がタイヤの下敷きになっていたことが衝撃でした。今日の交通安全教室を通して、私たちがルールを守れば、ルールが私たちを守ってくれるということを学びました。まわりを確認しながら走行しようと思いました。

「小さな違反が、大きな交通事故を招いてしまう」ことがわかりました。スタントマンが実演してくださったことで、被害の大きさがわかったので、歩いているときでも、自分のせいで事故を起こさないように気をつけたいです。もし、「まあいいや」という気持ちでスマホを見たり、傘をさしたりして運転している人がいたら、「少しの油断で人生をめちゃくちゃにしまったり、命を危険にさらしてしまったりする」ということを伝えたいです。

今日のスタントマンの実演を見て、車の運転手から見えない死角があることで、交通事故が起こるのだと思いました。ぼくは、時々、自転車に乗っているとき、「なんか車が接近してくるけど、車の運転手さんがぼくに気づいてくれるはずだから大丈夫」と思いながら走っていましたが、もしかすると運転手さんは、気づいていなかったのかもしれないと思うと、ぞっとしました。気をつけようと思いました。

本当の事故現場のような場面を見て、今まで以上に事故は怖いと思いました。部活動に行く途中、並列走行を毎日していることを思い出し、「自分は関係ないと思えないな」と感じました。自己の怖さを知ったからこそ、自転車事故を絶対に起こさないように気をつけていこうと思います。

## 学び楽舎企業体験

9月15日の午後、倉敷市キャリア教育推進事業の「企業学び楽

舎」講座を実施しました。これは、企業で働かれている人たちを先生としてお招きし、教室が企業になり、実際の製品や道具に触れ、本物の仕事の一部を体験できる授業です。今回は、松井織物株式会社さん、株式会社テオリさん、水島鋼板工業株式会社さんにお越しいただき、その中の2つの企業体験をさせていただきました。



(裏面に続く)



### 【生徒のお礼状から抜粋】



水島鋼板工業株式会社の方々に授業をしていただいて、ノギスやマイクロメーターなど、幅や厚みを測る道具があることがわかりました。使い方の説明をして下さっていたときは、簡単そうに動かされていたのですが、実際にやってみると、難しく、直角にすると動いてしまい、測るのが難しかったです。

知りたいです。授業で教えていただいて、わかったこと、驚いたことがあります。それは、水島鋼板工業さんの服装や持ち物の重要性です。一番大事だと思ったのが、手袋です。通常の軍手では、鉄板にこするだけで穴があいていました。でも、水島鋼板さんで使っている手袋は、やぶれにくくなっていて、手を切りにくくなっていました。どこで売っているのか知りたいです。

物を測る時、ほこりがついていると、計測にずれが生じることがわかりました。特に印象に残っていることは、ノギスでシャープペンの芯の太さを測ったことです。「実際に、こんな細いものを測れるのか」と思いましたが、測れた時はうれしかったです。今まで知らなかったノギスに興味をもちました。

真備町の特産である美味しい筍を栽培するために、古い竹の間伐を行っていたり、竹の表皮から出た粉末を使って塗料や入浴剤を販売したり、環境に優しい持続可能な商品作りをするために、多くの努力をされていることがわかりました。竹トレー作りでは、商品を作る難しさと、完成した時の達成感を得られる貴重な体験ができました。ありがとうございました。

テオリさんは、竹製品を作るときに、竹を無駄にしない努力をされていることがわかりました。きれいな竹は、家具やインテリアに活用し、家具を作るときに出る余分な竹は、入浴剤や塗料などに使っていて、持続可能な社会に向けた取り組みをされていると知って、興味がわきました。竹表皮塗料を使って竹を作らせていただき、うれしかったです。大切に使おうと思います。

松井織物さんは、150年の歴史があり、畳縁が全国80%のシェアを占めていることを知り、児島の産業のすごさを実感しました。実際に、電話対応の難しさも体験しました。もうすぐ、チャレンジワークの打ち合わせの電話をするので、そのときに生かそうと思いました。

松井さんの授業で一番心に残っていることは、検品の作業です。商品にできないものを見つけるなら、私にもできるかもしれないけど、たくさん糸の並びの中で、たった数本の糸の並びが違うことを見つけることは、不可能だと思いました。なかなかできる作業ではないと思いました。丁寧に面白くお話して下さったおかげで、今まで視野に入れてこなかった営業の仕事に興味をもちました。いい体験ができ、本当にありがとうございました。